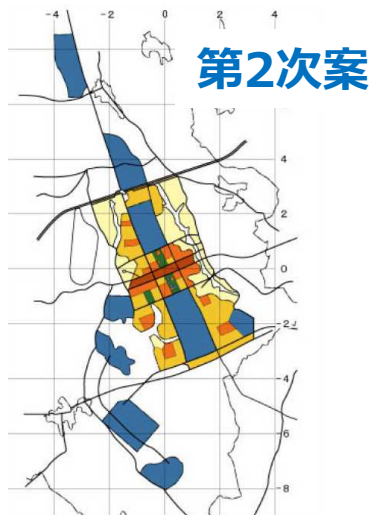
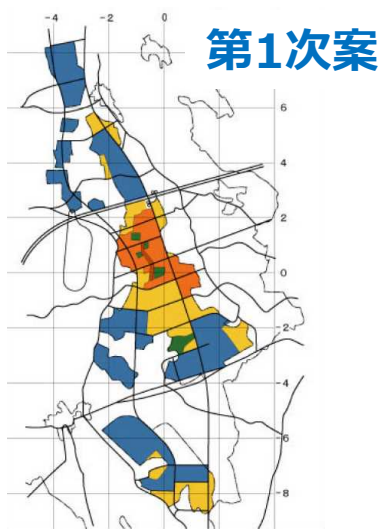
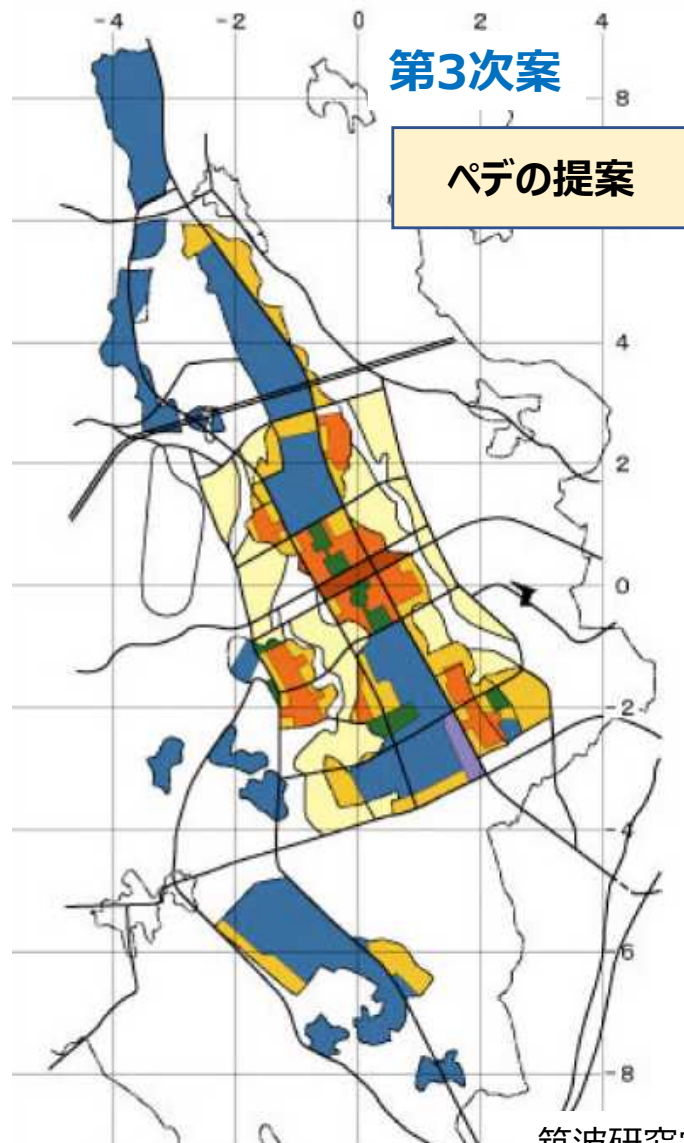


筑波研究学園都市 | マスタープランの変遷

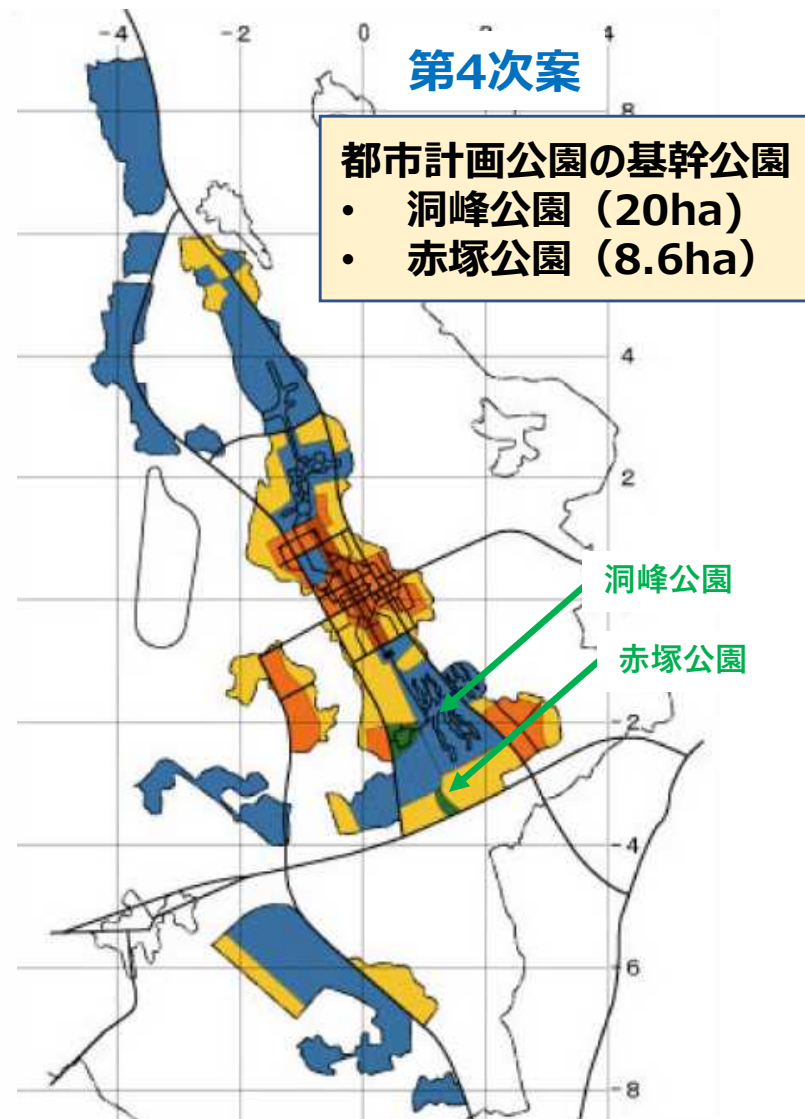
1965年



1967年



1969年



洞峰公園 | レガシーの公園



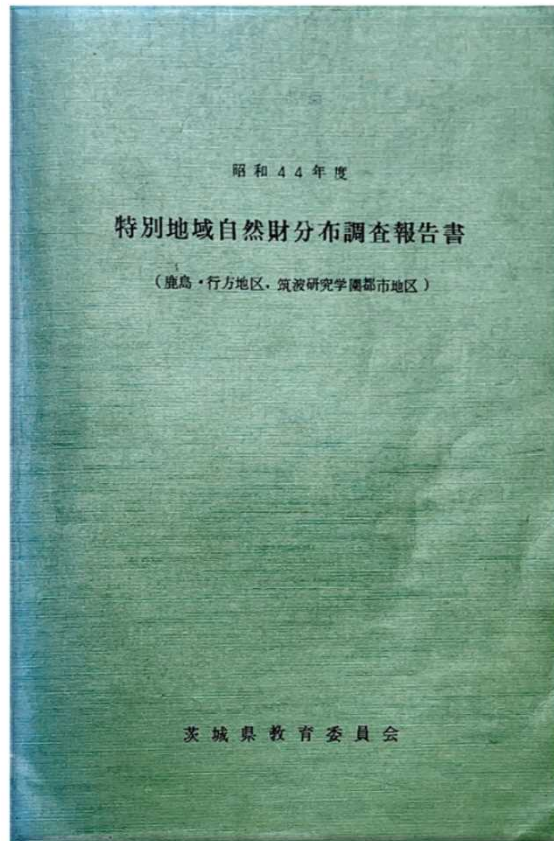
- 計画都市におかれた基幹公園
- 生態系の保全に留意した設計（樹林・草地・沼・300～500年前の土壌・つくばの原風景）
- 「みどり」の核・自然環境のシンボルとして設置
- 賑わい（スポーツ施設）と静寂（自然）が共存する設計



- 4000本の樹木と絶滅危惧植物、野鳥100種等をはぐくむ公園
- 市民の健康増進のための空間

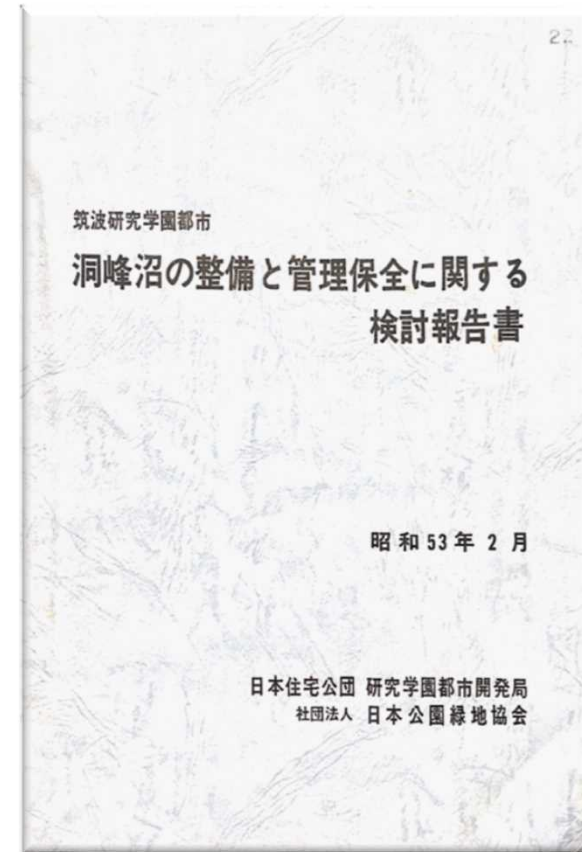
“SDGsやコモンズとしての公園”を視野に入れた
40年前の洞察力！

日本初の環境調査と保全対策



これからの保全対策の基礎資料

「… 私どもの豊かな生活のためには、遠い祖先の遺された文化財は保護すべきと同様に、郷土の地理的条件に生育し続けた自然財も保護せねばならぬと思います。…」



都市公園内の沼の包括的調査報告

「… 今後の公園整備、管理保全上重要な意義を持つものであるため、当協会は、本調査を行うに当たり、学識経験者及び行政関係者の総合検討委員会を設置した。…」

洞峰公園ができる前



開発前の土地利用状況

- 水田を含む耕作地:約50%
- 農業用水池:約40%
- 既存林地:約10%

「つくばの自然誌Ⅱ 洞峰公園」より



「大池回生」の碑

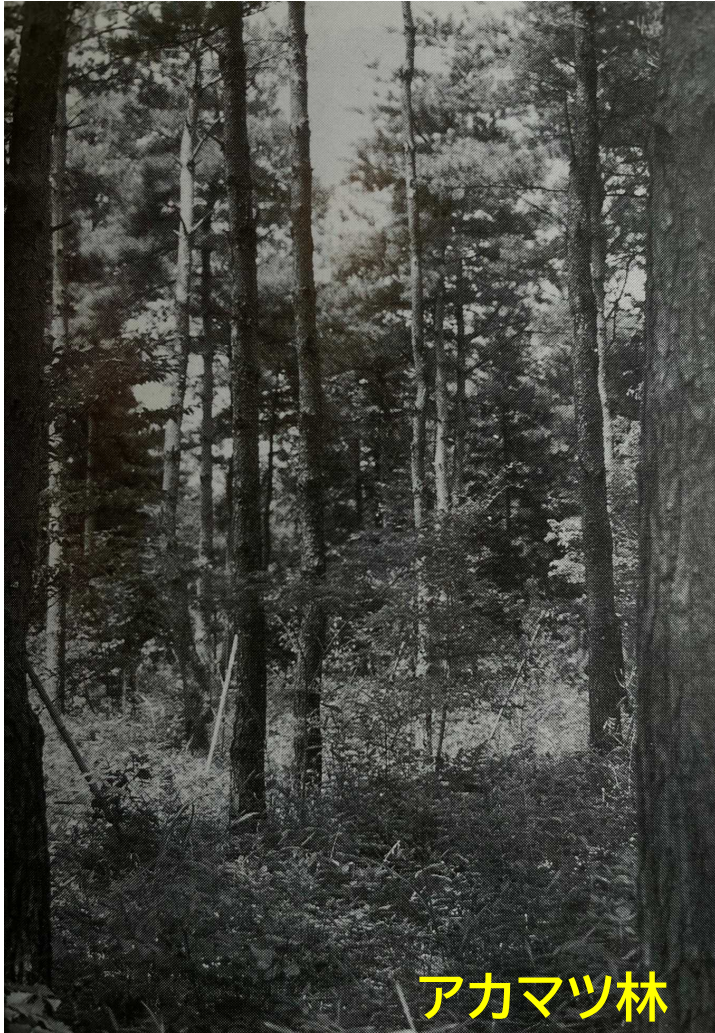
抑々**吾が洞峯沼**は徳川時代初期天然池に人工を加へ造成せられたものと傳へられその後幾度かの改修を経て吾が部落の**灌漑用水の根源池**となりたるものと云ふ、就中谷田部藩主細川興嗣氏時代救農治水に意を用い相模の國より農聖**二宮尊徳**先生を招きその指導により当池を利用した**用水事業**を起し農業の振興を計りその跡は最近迄存置されていたのである

然るに昭和三十七年國に於て**研究学園都市建設の議**起り谷田部町もまた将来の大発展を期しこの大業を推進しその結果昭和四十五年**当池を主体とした遊園地が計画**されその後部落に於ても関係者より精算人を選任し所有地全部を日本住宅公団に提供協力し今後**洞峯沼公園として生れ変る**ことに相成つたのである

茲に**農民と共に生きた大池の精霊に感謝**しこれを記念し碑を建て後昆に傳へんとするものである

谷田部町長横田榮一 撰文

大正時代の洞峰地区



つくば研究学園都市と自然
—その歩みと明日への提言—
株式会社STEP、1992年

洞峰公園周辺の変遷



開発前の土地利用状況

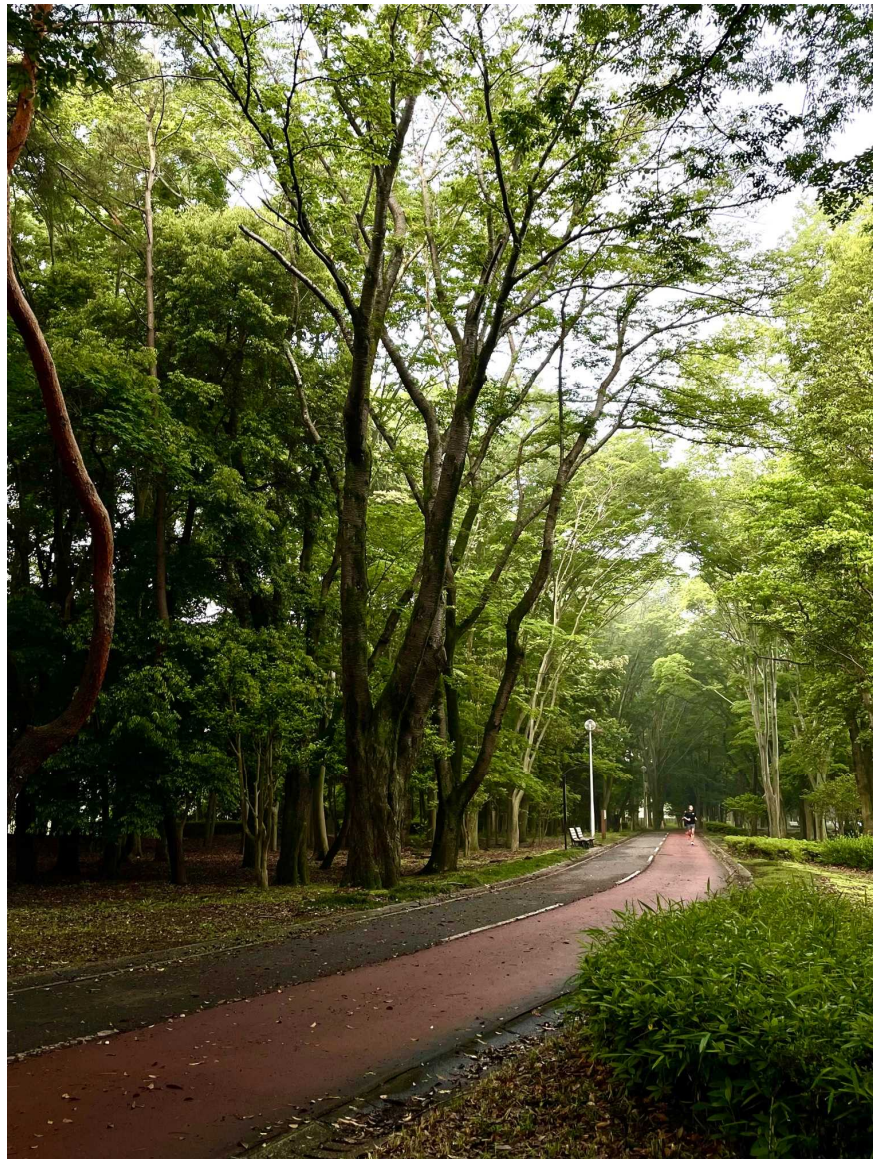
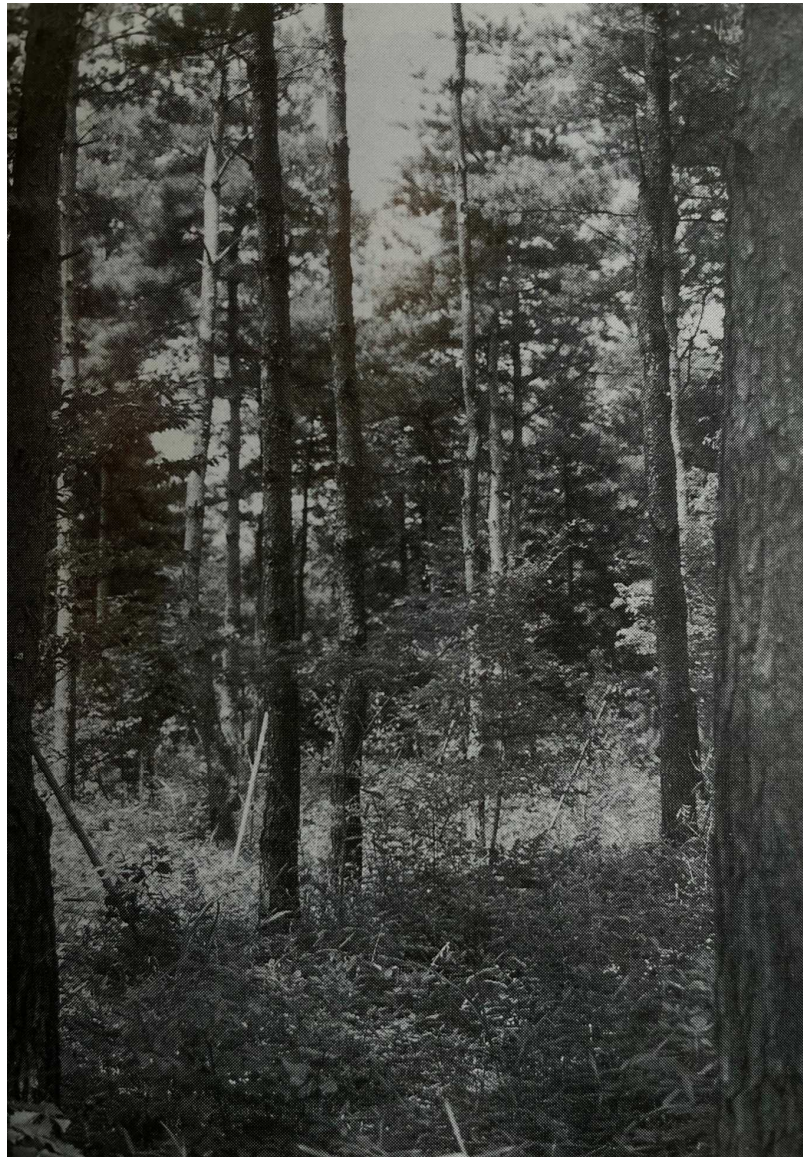
- 水田を含む耕作地:約50%
- 農業用水池:約40%
- 既存林地:約10%

「つくばの自然誌Ⅱ 洞峰公園」より

筑波研究学園都市の景観変化 | 水と緑の広場



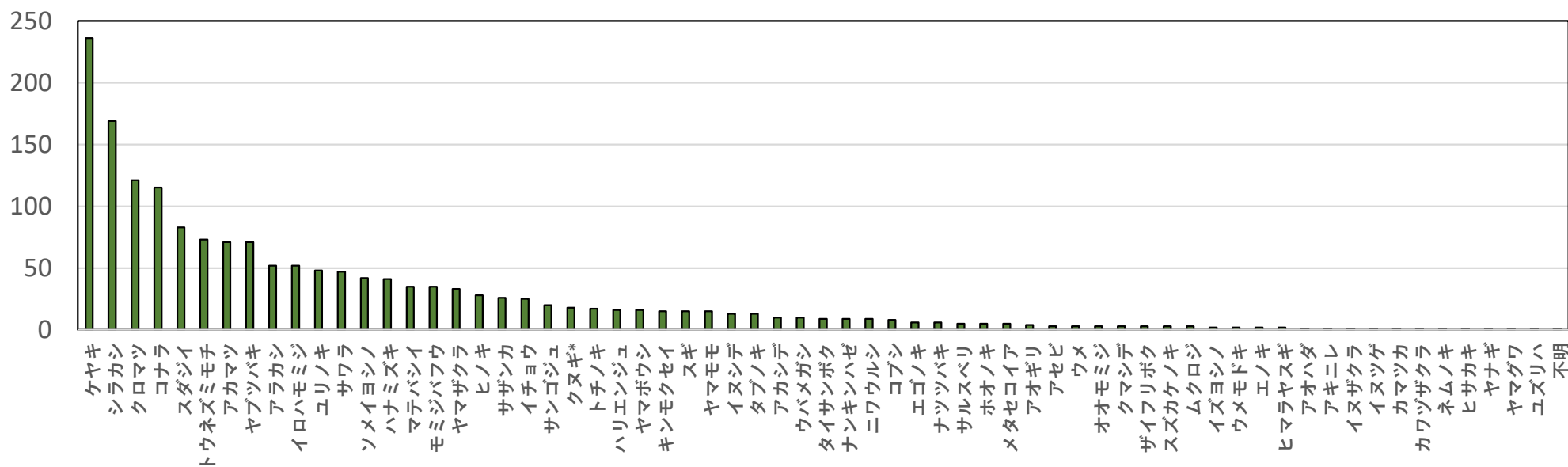
昔の面影が残る景色



洞峰公園の樹林



- 造園時：高木が約10,000本
- 茨城県の公称：約4,000本
- 全個体調査（2022年・2023年）：1267本
62種を同定(つくば市周辺の自然林を構成する樹木27種)
アオハダ、アカシデ、アカマツ、アラカシ、イヌザクラ、イヌシデ、イロハモミジ、エゴノキ、エノキ、オオモミジ、クヌギ、クマシデ、クロマツ、ケヤキ、コナラ、コブシ、シラカシ、スタジイ、タブノキ、ネムノキ、ヒサカキ、ホオノキ、ヤブツバキ、ヤマグワ、ヤマザクラ、ヤマボウシ、ユズリハ



洞峰公園の植物

- 観察調査会（2023年）：244種
- 茨城県又は環境省のレッドリストに掲載されている植物7種：キンラン、ギンラン、シラン、ゼンテイカ、ナガボノシロワレモコウ、マヤラン、イチョウウキゴケ
- 他の関東6県のレッドリストに掲載されている植物類5種：オオバノトンボソウ、ショウブ、チゴユリ、ノカンゾウ、ヌマトラノオ
- その他：ツクバキンモンソウ（ニシキゴロモの変種で筑波山で発見された植物）
スミレ・キランソウ・ギンランの群生地



希少生物の生息・生活する公園



茨城県鳥類繁殖分布調査報告
2016-2021

約 **6,100 km²**
茨城県全体で
みられる鳥類
178 種

バードリサーチ・日本野鳥の会茨城県



約 **0.3 km²**
洞峰公園周辺で
みられる鳥類
104 種
含希少種・絶滅危惧種

洞峰公園で観察される野鳥（希少種）

和名	学名	レッドリスト	
		茨城県	環境省
シラコバト	<u><i>Streptopelia decaocto</i></u>	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧 I B類 (EN)
ヒクイナ	<u><i>Porzana fusca</i></u>	絶滅危惧 I A類 (CR)	準絶滅危惧 (NT)
トモエガモ	<u><i>Anas formosa</i></u>	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)
ヨシゴイ	<u><i>Ixobrychus sinensis</i></u>	絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)
アマサギ	<u><i>Bubulcus ibis</i></u>	絶滅危惧 II 類 (VU)	—
サシバ	<u><i>Butastur indicus</i></u>	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)
ハヤブサ	<u><i>Falco peregrinus</i></u>	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)
カイツブリ	<u><i>Tachybaptus ruficollis</i></u>	準絶滅危惧 (NT)	—
オオタカ	<u><i>Accipiter gentilis</i></u>	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)
オシドリ	<u><i>Aix galericulata</i></u>	準絶滅危惧 (NT)	情報不足 (DD)
ノジコ	<u><i>Emberiza sulphurata</i></u>	情報不足 (DD)	準絶滅危惧 (NT)
ハイタカ	<u><i>Accipiter nisus</i></u>	情報不足 (DD)	準絶滅危惧 (NT)
コサメビタキ	<u><i>Muscicapa dauurica</i></u>	情報不足 (DD)	—
チュウサギ	<u><i>Egretta intermedia</i></u>	—	準絶滅危惧 (NT)
ミサゴ	<u><i>Pandion haliaetus</i></u>	—	準絶滅危惧 (NT)

洞峰公園での野鳥の生活

採餌中のセグロセキレイの親子



子育て中のカイツブリ



巣穴近くのコゲラ



ドングリを食べるカモ類





保護（ロープ柵&外来種防除）の結果、満開のイヌヌマトラノオ。
周辺には、ナガボノシロワレモコウも。